



- 公営住宅の環境整備について
- 漁業の生産性向上について
- 赤穂元禄・赤穂海浜スポーツ

### 赤穂ブランドの育成について

経政会代表 釣 昭彦 議員

- ツェンターについて
- 幼児教育の充実とアフタースクールの運営について

**問** 地産地消の推進で多くの地場産農産物が使用される地域のイベント等で広がる中、赤穂ブランドを商品化していくと明言されている。赤穂ブランドとして検討している商品はどのような商品を考えているのか。市内には多くの地場産を利用した商品があり、赤穂ブランドの商品化を早急に進め、市内の商店、企業を支援、応援をすべきであると考えますが、今後、赤穂ブランドの商品化をどのように推進していく考えなのか？

**答** 赤穂ブランドについては、塩味饅頭や赤穂のカキ以外に播州赤穂塩ラーメンや塩ラスクなど、塩にちなんだ商品を市内の各団体がPRしてきた結果、着実に成長してきており、商工会議所をはじめ関係団体と連携を図り、検討を行うことにより、将来的に赤穂ブランドの構築につなげていきたい。

今後、市が検討している赤穂ブランドには前述の商品以外にも赤穂みかん、塩ネギ、大津のスイカや大根、赤穂プリン、みかんゼリーなどを考えており、赤穂ブランドの周知については、関係団体との連携を図る中で、ロゴマーク等の作成やそれを使った看板やのぼり旗等でのPR等が可能かどうかを検討したい。

#### その他の主な質問事項

- 保健・医療サービスの充実について
- 防犯、減災意識の高揚について
- 公営住宅の環境整備について
- 地域産業の振興と雇用の場の確保について
- スポーツ活動の推進について
- 健全で効率的な行財政運営について

## 委員会報告から

### 民生生活

#### <窓口発ふるさと赤穂PR事業について>

- 問 事業内容は
- 答 証明書等の郵便による請求に、陣たくんと赤穂の特産品をかたどったスタンプを押して返送する。また婚姻届の際、希望者に陣たくんのデザインを組み込んだ写真や陣たくんのパペット人形との写真をプレゼントする。さらに転入者に赤穂をPRした引越し用はがきをプレゼントする。

#### <障がい者虐待防止対策支援事業について>

- 問 障がい者の虐待をどのように把握するのか。
- 答 通報があれば、24時間体制で職員が立入り調査を実施し、事実確認の上、虐待があるか判断する。

#### <健康増進事業について>

- 問 生活習慣病健診の拡充内容と受診結果について
- 答 腎機能検査の充実を図ることとしており、尿素窒素を追加する予定である。受診結果は総合的に判定して結果を返すようになっており、個別の検査項目についても具体的に説明を付けている。

#### <資源ごみ持ち去り防止対策事業について>

- 問 持ち去りを見つけたときの対処方法については、市民へ周知しているのか。
- 答 自治会等を通じ回覧を行っている。また、周知のための看板を順に設置したい。見かけたときは、美化センターへ通報いただくよう広報等を通じて周知徹底したい。

#### <公営住宅環境整備事業について>

- 問 塩屋西団地の耐震性は問題ないのか。
- 答 平成23年度に耐震の調査を終えており、耐震性には問題ないとの結果が出ている。

#### <ジュニア救急教室開催経費について>

- 問 備品整備の内容について
- 答 平成24年度の実施結果から、全員が訓練用人形を使った実技をするうえで、生徒の待ち時間を少なくするため、上半身訓練用人形を整備する。

#### <泡原液搬送車整備事業について>

- 問 泡原液搬送車によって石油コンビナート火災に対応できるのか。
- 答 120分間連続して泡放射ができる量の薬剤を確保することになっているが、消防本部では12,000リットルを確保しているので、十分対応できると思われる。
- 問 大規模災害になったときの近隣地域との連携はどうか。
- 答 石油コンビナートの防災区域で応援協定を結んでおり、姫路、高砂、加古川など、県下コンビナート地域から応援が来る。それでも対応出来ない場合は、瀬戸内海地区でコンビナートを持つ企業が装備している大容量泡放射システムにより坂出から応援してもらうことになっている。

#### <介護保険特別会計予算について>

- 問 福祉用具購入費と住宅改修費については、受領委任払いを導入する予定なのか。
- 答 平成25年度中の実施に向け、準備をしている。

#### <病院事業会計予算について>

- 問 診療所における調剤薬局からの配達には、別途患者負担は生じるのか。
- 答 配達に係る費用負担は生じない。